

映画上映会

バリアフリー字幕付き

*音声ガイドが必要な方は申込が必要です

入場
無料

監督
宍戸大裕

道
十
早

この街で暮らす

みちくさ

2026

2.7 土

9:20 会場
10:00 開演

主 催：高槻市

企画運営：高槻市障害児者団体連絡協議会
高槻事業所連絡会

場所 高槻市生涯学習センター多目的ホール

定員 200名（当日先着順）

申込 なし * 音声ガイドが必要な方は申込が必要です

連絡先 高槻市富田町2丁目16-26

社会福祉法人つながり コラム

TEL 072-694-1775 (妹尾)

Mail kousyoren@tcn.zaq.ne.jp

纏綱あや(映画監督)

たつたひとりの世界では、
自分は見えない。
道草をしながらふたりで
歩く散歩は、この世界とつな
がり、相手の瞳に自分を映し
出す時間。
こんな時間をすべての人が
持つことができたら、わたし
たちはもつともつと優しくな
れるだろう。



はみ出していく。 よし、はみ出していこう。

暮らしの場所を限られてきた人たちがいる。自閉症と重度の知的障害があり、自傷・他害といった行動障害がある人。世間との間に線を引かれ、囲いの内へと隔てられた。そんな世界の閉塞を、軽やかなステップが突き破る。東京の街角で、介護者付きのひとり暮らしを送る人たち。タンポポの綿毛をとばしブランコに揺られ、季節を闊歩する。介護者とのせめぎ合いはユーモラスで、時にシリーズだ。叫び、振り下ろされる拳に伝え難い思いがにじむ。関わることはしんどい。けど、関わらなくなることで私たちは縮む。だから人はまた、人に近づいていく。



<知的障害者の暮らしとは?>

知的障害がある人の暮らしの場は広がってきていますが「重度」とされる人の多くは未だ入所施設や病院、親元で暮らしているのが実情です。

2014年に重度訪問介護制度の対象が拡大され、重度の知的・精神障害者もヘルパー付きのひとり暮らしが出来る可能性は大きく広がりました。

そんな中、16年夏には相模原障害者殺傷事件が起きました。この街で誰もがともにあるために、新しい選択肢を見つめてみませんか?



2018年/95分/16:9/カラー/日本

監督・撮影・編集:宍戸大裕 / 音楽:末森樹 永原元 / 音響構成・整音:米山靖 / 宣伝デザイン:林よしえ / 宣伝イラスト:木下ようすけ / 題字:岡部亮佑
特別協力:全国自立生活センター協議会 / 助成:公益財団法人 キリン福祉財団 / 企画・製作:映画「道草」製作委員会

お問合せ:映画「道草」上映委員会 Tel: 080-3457-8833 FAX:087-883-6570 info@michikusa-movie.com http://michikusa-movie.com/

…支援の必要な方のお申込みは… (一般の方は申込不要です)

下記に「ご所属」「お名前」「TEL」をご記入の上、FAX・Mailにて

FAX 072-694-1776 コラム(妹尾)

ご所属	お名前	TEL FAX
Mail	必要な支援 □ 車イス席 □ 音声ガイド □ その他 【]	